

不登校児との交流

大原福祉会（神奈川県） 〒259-1132 神奈川県伊勢原市桜台1丁目36番5号 TEL 0463-93-8925

活動の概要

当保育園の近く（100m）に児童館があり、そこで日中、不登校児を対象とした「伊勢原市適応指導教室」が開かれ、10数名の小・中学生が通っております。

日頃から、不登校児の対応について考えておりました。もし、幼い頃に楽しい思い出があり「昔にフィードバックできたら」と、職員と話し合いました。このことを担当の先生に打診したところ、快く受入れてくださり、異年齢児交流の事業といたしました。

法人の概要

昭和53年に、社会的な背景に「核家族化やベビーブーム」による乳幼児を受け入れる施設が少なく、市内8番目（公立4園、民間4園）の保育所として法人の設立をいたしました。

法人・施設のある小田急線伊勢原駅南口は、特に昭和40年以降、大型スーパーの進出や住宅街の建設等により街の活性化が進み、駅周辺におけるあらゆる方面への利用ニーズが高まり人口増加の現象をもたらしました。

このことにより、駅から徒歩5分に設立した保育園の利用者ニーズは、国のエンゼルプラン等の施策もあり、年々、利用者ニーズの高まりを見せています。

- 経営施設数…1
- 法人全体の年間事業収入…約146,000千円
- 主な経営施設
保育所 昭和53年設立 定員120名

実施施設の概要

- 施設名…大原保育園
- 施設種別…保育所、定員120名

施設の運営方針

開園当初に「心身共に健康で豊かな情操を養い、たくましい子供の育成」を柱に保育を実施し、地域との連携を大切にし「共に育つ保育」に徹しております。

活動の内容

- 活動対象者…小・中学生
- 活動の頻度…年2～3回 1回1時間程度
- 年間延利用者数…約20名
- 活動開始年…平成13年

活動開始の背景（取り組みの経緯）

当時、児童館に日中、数名の中学生と先生が外でキャッチボール等をしている姿をよく見かけ、先生に尋ねましたところ「不登校児を集めた指導教室」を開いていると回答されました。

このことを園に帰り、主任保育士等に話をし、「何か交流ができないか」と打診し、保育園の子どもたちとの交流により、昔に戻ることも必要と判断し、担当の先生と「生徒さんの対応等について」話し合いを持ちました。

その結果、1回1時間程度で、特に年中・年長児との交流を希望され「このことは生徒の意

1. 地域ニーズへの対応

(2) 個別ニーズに対応した柔軟なサービス提供

志に沿って行って下さい」との要望がありました。そして、生徒さんの意志によりスタートいたしました。

■人材・資金面等での工夫、苦慮

交流当初は、1人の先生と6名の生徒さんが来園されましたが、半数の生徒さんは表情が硬張ったり、ぎこちなく交流をしておりました。

この交流は、あくまでも互いに無理がなく、予算を掛けない方法で取組むことといたしました。

現在、交流する生徒さんも10名を越え、自主的に参加され、先生と一般の市民から選任された指導員さんと2名が付き添いで来られます。また、生徒さんにいろいろと要望するのではなく、互いが自然にふれあえる交流をしております。

■利用者の声、地域の反応

生徒さんたちのぎこちない表情が最近ではすっかりなくなり、いつも集団で来園していたのが、個人の意志で集まっていただけになりました。

また、生徒さんが子どもたちといろいろなあそびを通して交流していただき、子どもたちと生徒さんの間に信頼関係が生まれ「今日は楽しかったよ」と、互いに声を掛け合う姿が見られるようになりました。

そして、自治会の方が交流風景を見られ、子どもたちと不登校の生徒さんが交流することをとても良く評価され、長く続けてほしいとの要望がありました。

活動の成果、地域の影響、今後の課題

保育園側と先生から「交流して良かった」という声があがるようになり、また、先生から「自立していく生徒さんがいる」ようにも聞いております。

今後は、回数を増やし、生徒さんの気持ちを大切にし、声かけや相談等も受けられるような体制を取り、よりアットホーム的な交流ができることが課題と認識します。